

## とやまあれこれ Vol.2 観光地編

前回の会報では富山県の位置、地形、県民性についてお伝えしましたが、今回は富山県の観光や名所についてご紹介いたします。

### 雨晴海岸



晴れた日には富山湾越しに立山連峰の3,000m級の山々を望むことができ、また、冬には海面に白く立ち上る蒸気が湯気のように見える「けあらし」といわれる幻想的な現象を見ることができます。日本の渚百選にも選ばれており、景勝地として人気があります。

### 五箇山合掌造り



急傾斜の切妻造り・茅葺きの屋根が特徴的な合掌造りは、1995年に日本では6番目となったユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録されました。四季を通じて行われるライトアップでは、幻想的なふるさとの風景を体感することができます。

日本昔話の世界  
溪谷の秘境



### 富山市ガラス美術館

富山を代表する美術品は多数ありますが、意外と知られていないのが、現代ガラスアートです。長年にわたりガラス作家の人材育成やガラスの産業化など多角的に取り組み、2015年には「ガラスの街とやま」を目指したまちづくりの集大成とも言える施設、富山市ガラス美術館が「TOYAMA キラリ」内にオープンしました。



トーマス・フラヴィン氏(スペイン人)2004年  
富山市ガラス美術館所蔵  
撮影:末正真礼生



富山市ガラス美術館 コレクション展



美術館の設計は、日本の建築家「隈研吾」さんのデザインです。富山の名物であるガラスとアルミと石を用いた外観は、富山県の立山の氷の岩脈をイメージしたものだそうです。様々な角度で光を反射し、キラキラとして、とても美しいです。

また、富山市内には、まちなかの公園や建物にガラス作品を展示して、街全体をガラスのミュージアムにしてしまうプロジェクトを展開しており、現在、中心市街地の商店街や大手モール通りをはじめ、様々な場所に作品が展示されています。

富山の街をぶらりと散策しながら、作家一人一人の独自の感性で生み出された個性豊かな表現とガラスの魅力を楽しんで楽しむことができます。全国大会会場である富山県民会館の周辺にも多数の作品が展示してありますので、お越しの際にはぜひご鑑賞ください。

さて、次回は富山県の食べ物や土産物についてご案内いたします。どうぞお楽しみに♪

イラスト提供: ヨッシースタンプ®  
写真出典: 富山県ホームページ  
写真提供: 富山市ガラス美術館